



皇紀2686年  
令和8年  
ひのえうま  
丙午

やく どし み いわい  
**厄年・身祝**

男性		女性	
前厄 平成15年生 本厄 平成14年生 後厄 平成13年生	25歳	厄 <small>やく</small>	19歳
前厄 昭和61年生 本厄 昭和60年生 後厄 昭和59年生	42歳	大厄 <small>たいやく</small>	33歳
前厄 昭和42年生 本厄 昭和41年生 後厄 昭和40年生	61歳	厄 <small>やく</small> <small>※この年を厄とする地域もあります。</small>	37歳
げん ぶく いわい <b>元服祝</b> 平成24年生	15歳	身祝 <small>みいわい</small>	13歳
かみ あげ いわい <b>髪上祝</b> 平成26年生	61歳	賀寿 <small>がじゅ</small>	61歳
還暦 昭和41年生			還暦 昭和41年生

**賀寿一覧**

- 還暦祝 (男女61歳) 昭和41年生
- 古稀祝 (男女70歳) 昭和32年生
- 喜寿祝 (男女77歳) 昭和25年生
- 傘寿祝 (男女80歳) 昭和22年生
- 米寿祝 (男女88歳) 昭和14年生
- 卒寿祝 (男女90歳) 昭和12年生
- 白寿祝 (男女99歳) 昭和3年生
- 上寿祝 (男女100歳) 昭和2年生

神社で行う人生の儀礼のほとんどは「かぞ数え年どし」で行います。  
数え年とは生まれた年を1歳と数え、正月を迎えるたびに日本人すべてが、神々から新しい生命いのちを頂き、一つずつ年齢としを重ねる数え方です。  
どうぞ節目の年にご家族お揃いで神社へ参拝し、ご祈祷をお受けください。

